

第90回 実は隣のスゴイ人



今回は、末吉町にお住まいでピアノ教室の講師やソプラノ歌手として活躍されている小原久美子さんに話を伺ってきました。

南之郷中学校時代に音楽の先生から誘われ合唱部に入りました。「熱心に指導していただき、合唱の楽しさを教えてもらいました」

全員の心がひとつになり、音楽を作り上げる一体感に合唱の楽しさを感じていました。

その先生に憧れて音楽の道に進んだ小原さん。鹿児島短期大学音楽科に進学しました。

大学には成績上位者しか参加できない卒業演奏会がありました。「育ててもらった恩師を招いて恩返しするために、遊ばずに練習しました」

無事に演奏会の出演が決まり中学・高校時代の恩師を招くことができました。

卒業後はヤマハ音楽教育システム講師を経て、鹿児島リベロアンサンブル代表。鹿児島ズイグ・アカデミー、鹿児島オペラ協会に所属し音楽活動を行いました。その後は京都府を中心に合唱活動・



指揮者・ソリストとして活躍。鹿児島に帰ってきてからは夫の転勤先の奄美大島・種子島・与論島など県内各地で子ども達へ合唱・声楽・ピアノなどの指導を行ってききました。

「音楽の技術だけではなく、思いやる心・自信を持って表現する気持ちを育てたいと指導してきました」

努力を認めてあげて、常に笑顔でレッスンをするように心掛けているそう。

そのほかにも依頼があると、ボランティアで小・中学生への合唱指導や介護施設での演奏なども行ってきました。

現在は音楽教室のほかにコンサートの出演や、歌で曾於市を元気にする会のソリストとして活動しています。また娘で篠笛奏者の瀬戸口留美子さんが演奏活動や練習の際に、孫を預かってサポートしています。

子どもの指導を初めて47年。「私は恩師に恵まれて活躍できました。育ててもらった先生方に恩を返す代わりに、子ども達の指導をしています」と話してくれました。

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、井筒輝男さんにご紹介いただいたこの方は「ハイドンが作曲した『ひばり』のように歌うソプラノ歌手のようなスゴイ人」とのこと。

【今回のスゴイ人】音楽教室主催者
こ ば ら く み こ
小原久美子さん

